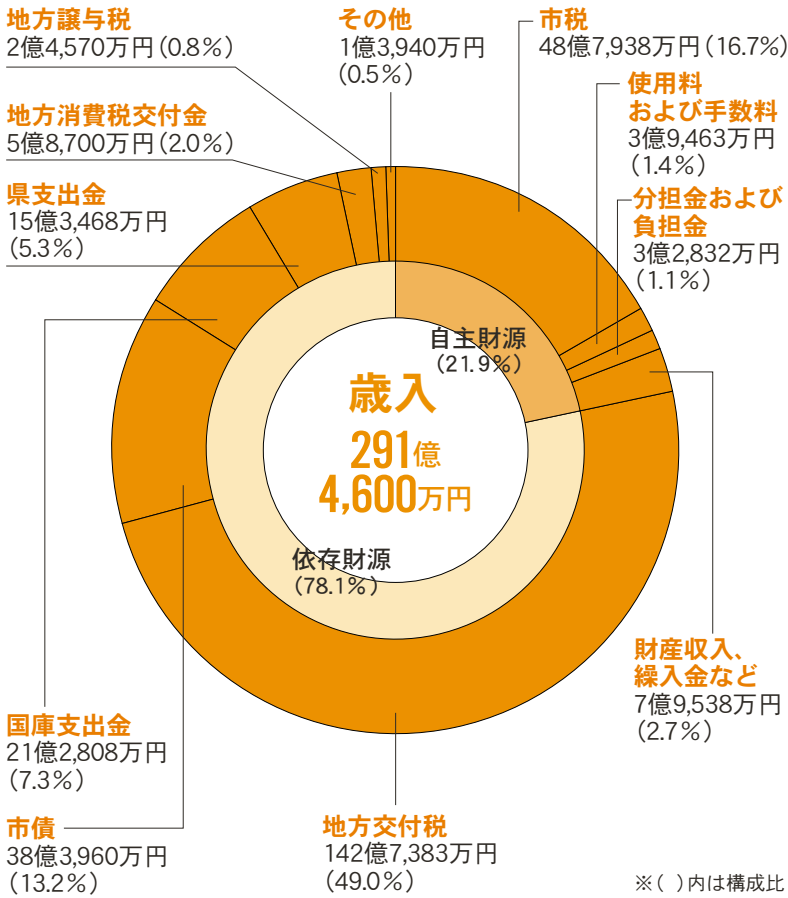


歳入

性質別



※()内は構成比

自主財源はわずか21・9割、地方交付税依存は変わらず

歳入では、市税が雇用・所得環境の改善が続くなかで回復の兆しが見られることから、前年度に対し0・9割増の48億7938万円を計上。一方、地方交付税は、普通交付税の合併特例措置期間が終了し今年度から段階的に減額されていくことを考慮し、3・1割減の142億7383万円を計上しています。自主財源比率は、前年度の20・0割から改善し、21・9割となりました。しかし、依然として歳入の約半分を占めている地方交付税や国庫支出金、市債といった依存財源に頼っている状況に変わりはありません。

平成27年度 予算

一般会計総額は前年度比7・6割減の291億4600万円を計上

平成27年度当初予算は、「元気で希望の湧く真庭」を構築するため、①交流定住の取り組み、②産業振興の取り組み、③安全・安心な地域づくり、④未来を担う人づくりと豊かな文化づくり、⑤行財政運営の効率化の取り組みの5項目に重点を置いて予算を編成しています。今年度から始まる地方交付税(普通交付税)の減額によって予想される厳しい財政状況の中で、健全な財政運営を持続的に行っていくことを考慮した結果、一般会計の予算規模は、前年度に対して7・6割減の291億4600万円となりました。

総務部財政課 TEL(742)1167

特別会計

真庭市には12の特別会計があり、それぞれ独立して事業を行っています。

- 国民健康保険 63億6480万円
- 後期高齢者医療 6億9286万円
- 介護保険 58億4188万円
- 介護保険(介護サービス事業勘定) 5730万円
- 簡易水道事業 9億9747万円
- 浄化槽事業 1億580万円
- 農業集落排水事業 6億4760万円
- 公共下水道事業 19億9479万円
- 分譲宅地事業 1246万円
- 津黒高原観光事業 2756万円
- クリエイト菅谷事業 520万円
- 温泉事業 1億1406万円

今年度に真庭市が 取り組む事業は？

平成26年度、国は地方創生を進める方向性を示し、地方で先行して取り組む活性化事業と住民生活の支援に直接つながる事業を行うための補正予算を計上しました。真庭市はこの動きにいち早く対応し、3月補正予算で事業費を計上。今年度に繰り越しました。

真庭市では、この平成26年度3月補正予算で行う事業と平成27年度当初予算で行う事業で、今年度のまちづくりを進めていきます。

平成26年度3月補正予算

■まち・ひと・しごと創生

総合戦略先行事業(21事業)

- ・地方版総合戦略策定事業
- ・里山真庭の森林づくり推進事業
- ・交流推進事業
- ・シティプロモーション事業
- ・子どもの生活支援事業 など

■消費喚起・生活支援型事業(4事業)

- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業
- ・プレミアム商品券事業 など

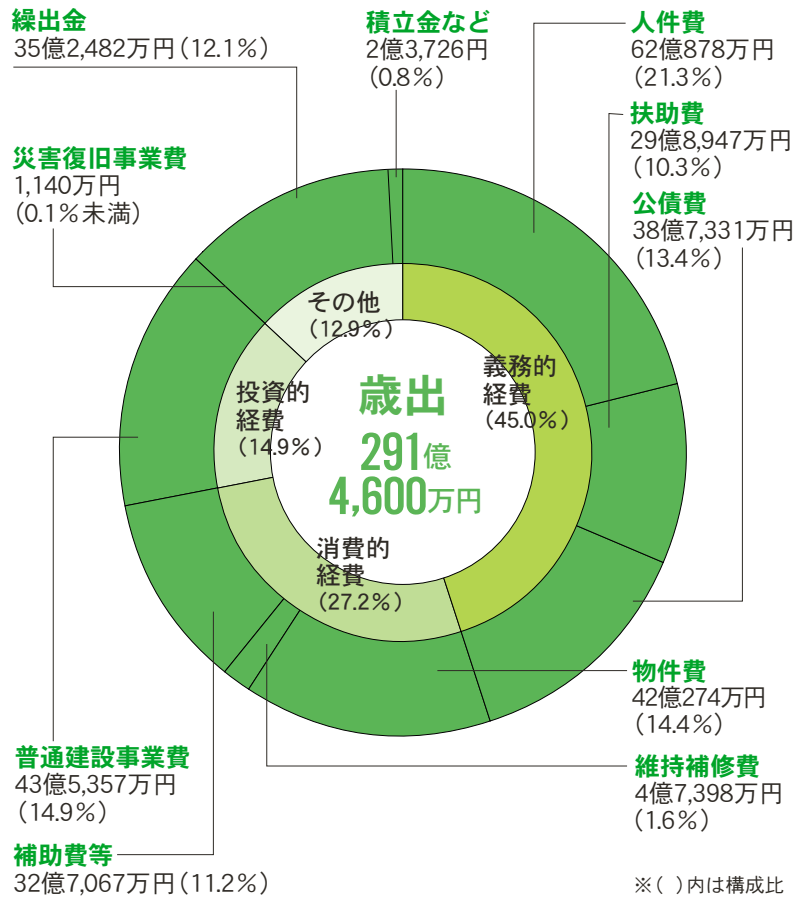
平成27年度当初予算

■主要事業

- ・全国水源の里シンポジウム
- ・商工業振興対策事業費補助金
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・各種がん検診事業
- ・認定こども園施設整備事業
- ・ICT環境推進事業
- ・固定資産台帳作成事業 など

歳出

性質別



特別会計への繰出金が増加
財政の健全化が課題

歳出を性質別に見ると、投資的経費は、普通建設事業費が庁舎建設事業（落合地域総合センター）の事業費などの減少により、前年度に対して31・6割減の43億5357万円を計上。また、その他では、積立金がふるさと納税の増額を見込んでいることや、一般会計から特別会計への繰出金の増加などにより、2・4割増の37億6208万円を計上しています。特別会計に対する繰出金は年々増加傾向にあり、財政の硬直化を招く恐れがあります。一般会計、特別会計ともに健全財政を確保していく必要があります。



広報真庭別冊 「真庭市の仕事と予算」 もご覧ください

今年度の予算や事業内容などについては、広報真庭別冊「平成27年度 真庭市の仕事と予算」に掲載していますので、そちらも合わせてご覧ください。

公営企業会計

自治体でも収益が認められているのが公営企業会計。真庭市には3つの会計があります。

■農業共済事業

2億7728万円

■水道事業

13億5966万円

■国民健康保険

18億5174万円

■湯原温泉病院事業

18億5174万円

みんなのでつくろう！ 消費者が主役の社会！！

5月は消費者月間です。消費者、事業者、行政、みんなで連携し、消費者が主役となって選択・行動できる社会を作りましょう。真庭市の相談状況などについて、真庭市消費生活センター相談員井原直美さんにお話を聞きました。



真庭市消費生活センター
相談員 井原直美さん

特殊詐欺被害額が過去最悪

平成26年の特殊詐欺（振り込み詐欺とそれに類似する手口の詐欺の総称）被害総額は、全国で約559・4億円と、初めて500億円を超え、過去最悪を更新しています。岡山県でも、特殊詐欺の被害額は約8・6億円と、依然として厳しい状況です。

しかし、この数値は、警察に被害届が出された被害のみ数値であり、実際には、これをはるかに上回るものと考えられます。

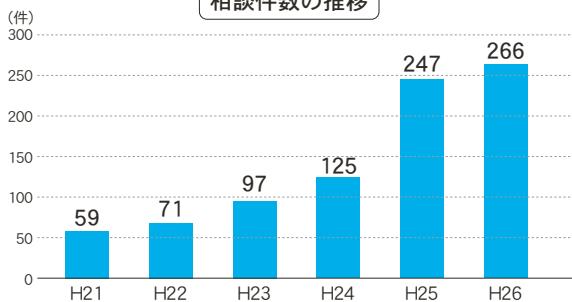


真庭市の相談状況は

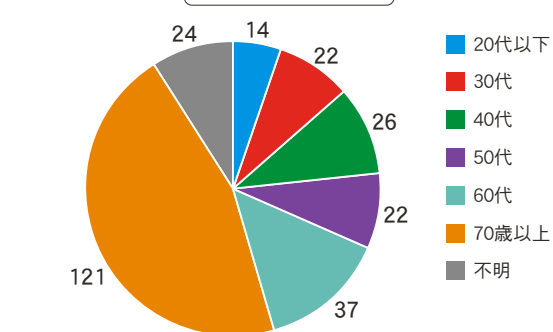
平成26年度の真庭市内の相談受付件数は、266件と年々増加しています。年代別では、70歳以上の人が相談が一番多く、電話や訪問で

の勧誘、通信販売などでトラブルに巻き込まれています。商品・サービス別の相談件数は、不審電話や架空請求はがきなど、何の契約か不明なもの「商品一般」が一番多くなっています。

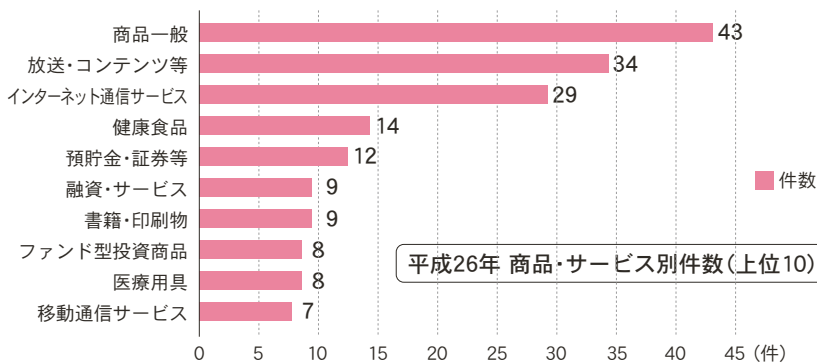
相談件数の推移



年代別の契約件数



平成26年 商品・サービス別件数(上位10)



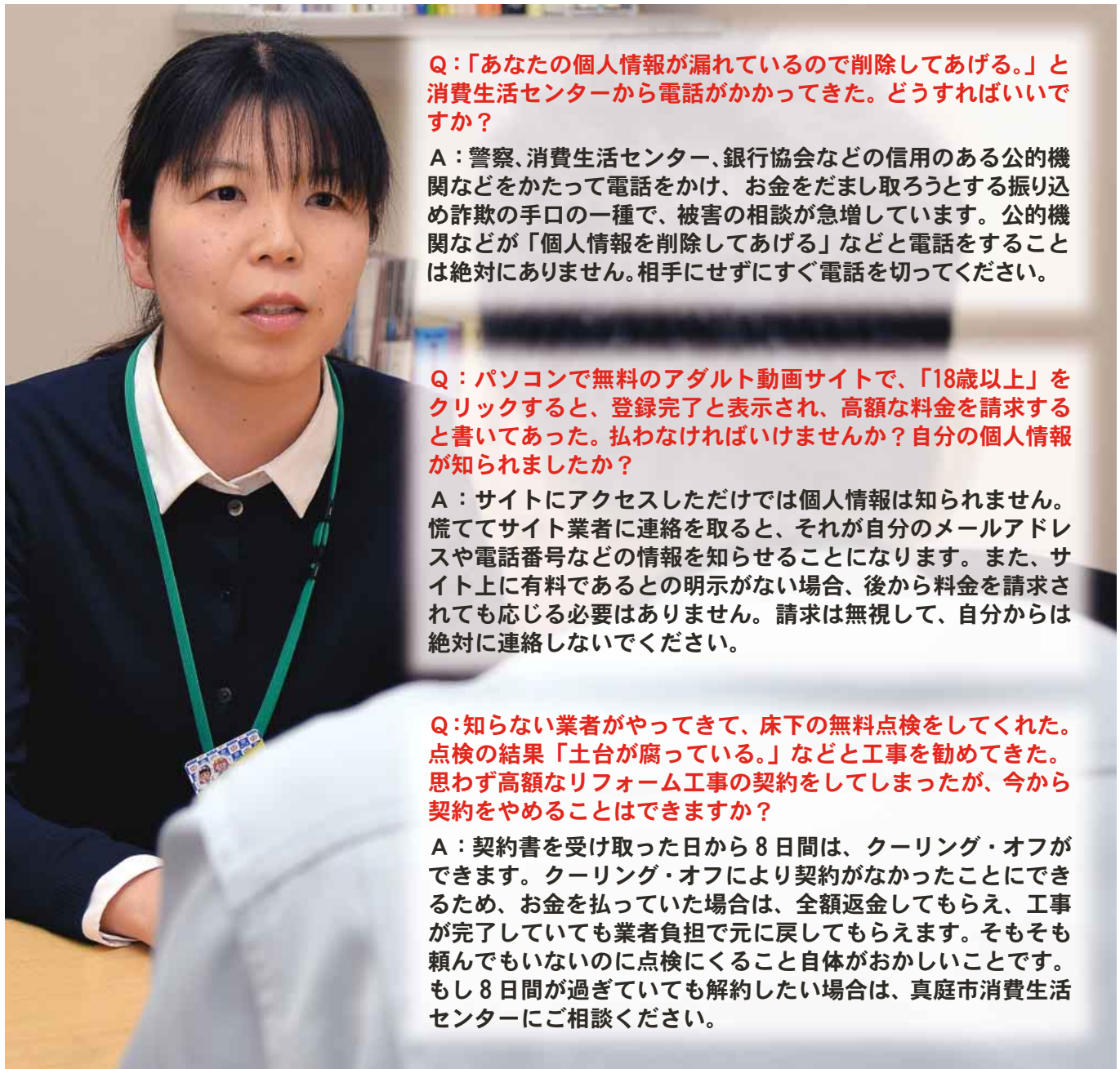
消費生活出前講座

市内各地、各学校で行っている「消費生活出前講座」の申し込みを随時受け付けています。消費者被害に遭わないために、トラブルを防ぐために一緒に学んでみませんか。

サロン、自治会など、少人数のグループでも受け付けていますので、日程が決まったら、真庭市消費生活センターにお電話ください。※予約は日程の3週間前までをお願いします。



消費生活相談 Q&A



Q:「あなたの個人情報が出ていたので削除してあげる。」と消費生活センターから電話がかかってきた。どうすればいいですか？

A:警察、消費生活センター、銀行協会などの信用のある公的機関などをかたって電話をかけ、お金をだまし取ろうとする振り込み詐欺の手口の一種で、被害の相談が急増しています。公的機関などが「個人情報を削除してあげる」などと電話をすることは絶対にありません。相手にせず、すぐ電話を切ってください。

Q:パソコンで無料のアダルト動画サイトで、「18歳以上」をクリックすると、登録完了と表示され、高額な料金を請求すると言われていた。払わなければいけませんか？自分の個人情報が知られましたか？

A:サイトにアクセスしただけでは個人情報は知られません。慌ててサイト業者に連絡を取ると、それが自分のメールアドレスや電話番号などの情報を知らせることになります。また、サイト上に有料であるとの明示がない場合、後から料金を請求されても応じる必要はありません。請求は無視して、自分からは絶対に連絡しないでください。

Q:知らない業者がやってきて、床下の無料点検をしてくれた。点検の結果「土台が腐っている。」などと工事を勧めてきた。思わず高額なリフォーム工事の契約をしてしまったが、今から契約をやめることはできますか？

A:契約書を受け取った日から8日間は、クーリング・オフができます。クーリング・オフにより契約がなかったことにできるため、お金を払っていた場合は、全額返金してもらえ、工事が完了していても業者負担で元に戻してもらえます。そもそも頼んでもいないのに点検にくること自体がおかしいことです。もし8日間が過ぎていても解約したい場合は、真庭市消費生活センターにご相談ください。

困ったらここに相談

真庭市消費生活センターにご相談ください。専門相談員が、解決に向けて一緒に考えます。出前講座のお申し込みもお待ちしています。

相談受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00(受付時間が延長になりました)

TEL0867-42-1172 (いいな!にっこり!と覚えてください)

土・日の場合 岡山県消費生活センター 9:00～16:30 TEL086-226-0999

祝日の場合 国民生活センター 10:00～12:00 13:00～16:00 TEL0570-064-370